松山東雲女子大学 松山東雲短期大学 PRESS RELEASE

2024年5月9日

報道関係者 各位

取材のお願い

紙芝居 と こえ浴(声浴)

「おとなのためのおはなし会」

人生を豊かにするための、大人が主役のおはなし会を開催

今、大人のためのおはなし会が注目されています。絵本や紙芝居などは子どもだけが楽しむもの ではありません。人生経験を重ねた大人ならではの気づきや感動、癒しがあります。そして、こ れらの感動は、より人生を豊かにしてくれます。

この度、本学では、語り手として長く愛媛で子どもの読書活動推進に携わっている**片山真智子先** 生(紙芝居文化推進協議会会員)をお招きし「おとなのためのおはなし会」を開催します。

またプログラム内で"お口の体操"の時間を設け、発声や呼吸法を行い健康増進に役立てます。 みんなで声を出し呼吸が揃ってくると、そこに「共感」と「安心感」が生まれます。

参加した皆様にはぜひ今回の紙芝居や発声による「こえ浴」で「生の声の力」を感じていただき たいと思います。

時: 毎週火曜日 11:00~11:30 Н

初回 2024年5月14日(火)

2回目以降の予定 6/11、7/2、8/20、9/17、10/15、11/12, 12/10、1/7、2/18、3/18

場 所: 松山東雲女子大学・松山東雲短期大学 桑原キャンパス内 図書館

参加者: 地域の方、学生約10名(子ども専攻4年影浦ゼミのメンバー他)

語 り 手: 片山 真智子 先生 (紙芝居文化推進協議会会員・本学卒業生)

担当教員: 影浦 紀子(松山東雲女子大学 心理子ども学科 子ども専攻 准教授)

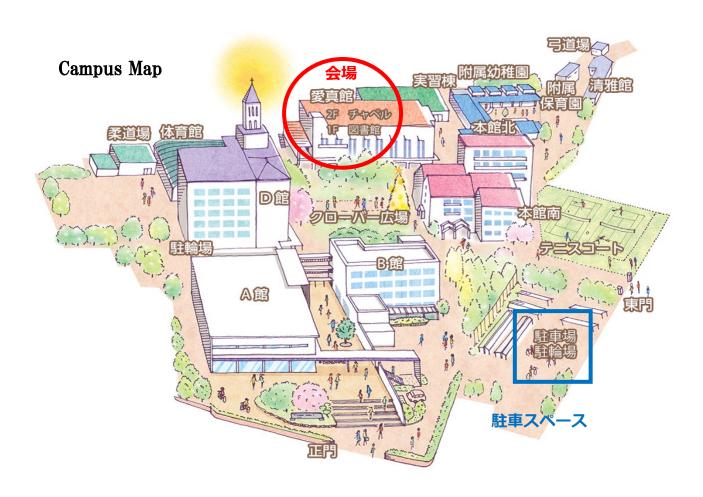
【第1回 5月14日のプログラム】

- ・やべ みつのり 作『昭和の窓』
- ・お口の体操
- ・ときわ ひろみ 作・渡辺享子 絵『父のかお 母のかお』

片山真智子 先生 プロフィール

- ◆1952 年生まれ
- ◆1973年 松山東雲短期大学 食物科 卒業
- ◆卒業後、NHK 松山放送局で番組アシスタントやラジオパーソナリティを務める。 結婚を機に退職。
- ◆子育て中に絵本の魅力にはまる。
- ◆1980年代に「ちびっこ文庫」を自宅に開室。
- ◆52 歳から70 歳まで、勝愛幼稚園の絵本室専属職員として勤務。在職中に司書資格を取得。

他にも、愛媛県立図書館などで読書に関する講師を多数務め、最近では老人保健施設のデイサービスで紙芝居や発声による健康増進の活動を行っている。



※ 取材にお越しいただける際は、事前に広報担当者へご連絡いただけますと幸いです。

【問い合わせ】

松山東雲女子大学・松山東雲短期大学 広報担当:河淵(かわぶち)

松山市桑原3丁目2-1 電話:089-931-6211(代) Mail:kouhou@shinonome.ac.jp

広報 DO+E

広報担当者が取材した 「しののめ」でやってるコト、起きているコトをお届けしています



https://note.com/ ready_fowl3292